



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

IR HANDBOOK

第70期 事業のご報告
2018.4.1▶2019.3.31



人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
63.7%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

環境事業の概要

重金属含有廃液（廃酸・廃アルカリ等）の無害化処理や金属含有廃液からの金属回収、廃油・汚泥・廃プラ等のあらゆる廃棄物のリサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

1. 貴金属めっき薬品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

関連するSDGs



事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
36.3%

事業の成り立ち

1948年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材（水産品・畜産品・農産品など）を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

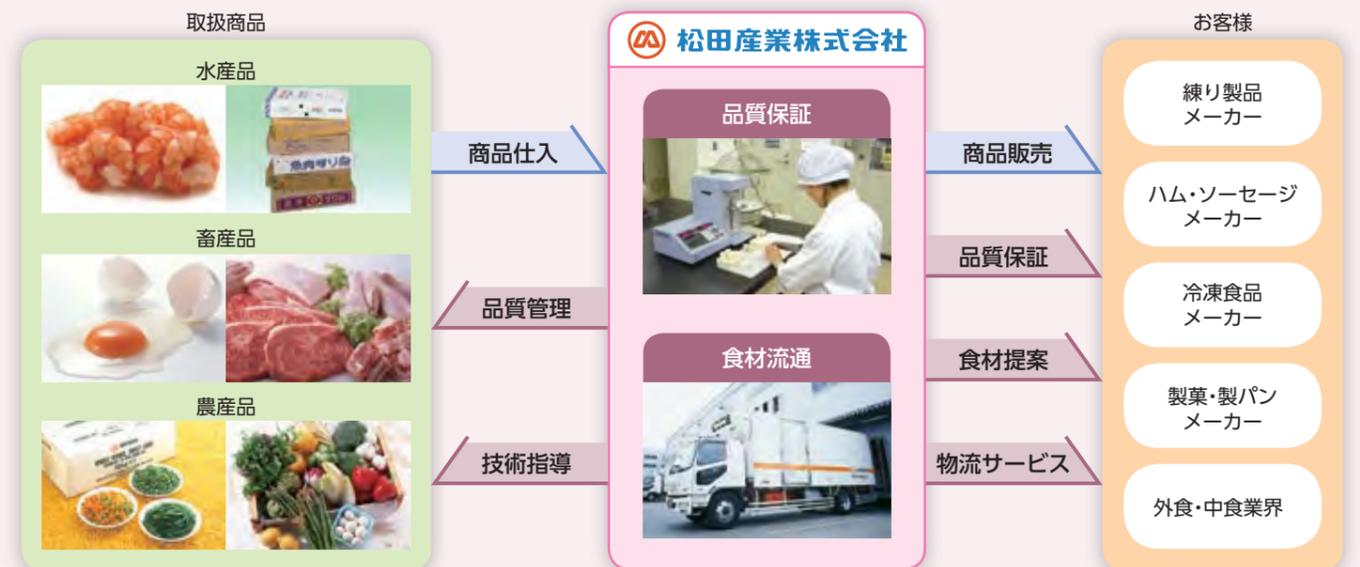
事業の強み

1. ニーズに沿った加工地や産地を提案し、ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。現地法人を活用し、グローバルな調達ネットワークを展開。

関連するSDGs



事業フロー



新たな中期経営計画のもと、社会の変化に適応し、進化し続ける“強い”会社を目指します。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

2019年3月期の業績と配当につきまして

2019年3月期においては、雇用情勢や所得環境の改善が続くなど全体的には緩やかな回復基調で推移したものの、輸出や鉱工業生産の一部に弱さが見られました。また、通商問題や中国経済の先行き、世界経済の動向や政策の不確実性、金融資本市場の変動等による世界経済の下振れ懸念等から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうしたなか貴金属関連事業では、営業展開の強化と国内外の生産拠点の活用により、貴金属原料の確保や化成品等の製品販売、産業廃棄物処理の受託拡大に取り組みましたが、外部環境の悪化により貴金属リサイクルの取扱量は横這いとなり、貴金属化成品や電子材料の販売量は減少しました。しかしながら、貴金属製品の販売量や産業廃棄物処理の取扱量が増加したほか、パラジウム価格の上昇もあり、増収増益となりました。

食品関連事業では、顧客ニーズをとらえた商品の開拓・提供に鋭意取り組み、国内外での積極的な営業活動により販売量の拡大に努めた結果、水産品、畜産品、農産品ともに販売数量が増加し、増収増益となりました。

この結果、2019年3月期の連結業績は、売上高は前期比9.5%増の2,083億38百万円、営業利益は同1.4%増の49億48百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益の減少等から同0.9%減の50億94百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同2.0%減の33億91百万円となりました。

期末配当金につきましては、期初予定通り1株当たり15円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は30円といたしました。2020年3月期の1株当たり年間配当金につきましては、前年比4円増配の34円とする予定です。

2019年3月期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2018年5月
2018NEW環境展に出展
(ゼロ・ジャパン(株))
- 2019年2月
台湾に現地法人を設立

食品関連事業

- 2018年10月
第2回“日本の食品”輸出EXPOに出展
2018年高雄国際食品見本市(台湾)に出展
- 2018年11月
第1回中国国際輸入博覧会(中国)に出展

その他経営関連

- 2018年10月
「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定

さらなる企業価値向上へ向けて、新中期経営計画(2019-2021年度)をスタートしました

当社グループは、さらなる企業価値向上を目指し、新中期経営計画(2019-2021年度)をスタートしました。

2018年度を最終年度とした前中期経営計画では、貴金属関連事業を拡大・成長の牽引役部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、この達成に向けた経営戦略として、「既存事業の収益極大化」「新たな収益源の構築」「東アジア地区での積極拡大」「最適な管理体制の構築」「人材育成・確保」の5つの重点方針に取り組んでまいりました。その結果、数値目標として掲げた連結売上高2,000億円、同営業利益40億円、営業利益率2.0%についてはいずれも達成することができました。

そこで新中期経営計画(2019-2021年度)においては、貴金属関連事業および食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし、2021年度までに連結売上高2,200億円、同営業利益55億円、同営業利益率2.5%、自己資本利益率(ROE)6.0%達成という数値目標を掲げ、製品開発や技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等の事業拡大に必要な成長投資を、より積極的に行ってまいります。

貴金属関連事業では、「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」をビジョンとし、収益拡大に向けた経営戦略として「基幹事業の基盤強化」「資源循環ビジネスを始めとする顧客価値提案強化と営業体制整備」「自動車関連市場/化学関連市場/海外市場の拡大」「E-スクラップ、高機能電子材料、LiBリサイクル等の事業領域拡大」に注力します。

食品関連事業では、「お客様の商品開発のベストパートナー」をビジョンとし、「基幹事業の基盤強化」「強い商品作りの為の開発/品質保証/生産管理支援機能強化」「顧客ニーズに応じた商品ラインナップ拡充」「国内に加え、グ

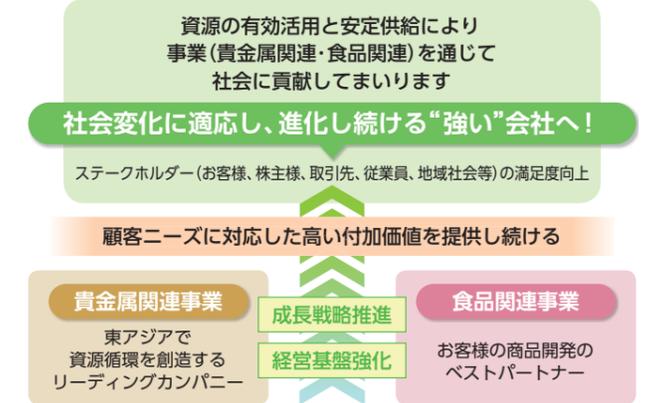
ローバル展開を加速(国内外拠点展開)」という経営戦略のもとで収益拡大を図ります。

また、会社を支える経営基盤の強化として、「ITを活用した管理機能強化と自動化・省力化を推進し生産性を向上」「成長を牽引する経営人材の創出」「適材適所で多様な人材が活躍できる働きがいと働きやすい職場環境づくり」「ガバナンス強化と多岐にわたるリスク管理の徹底」を掲げ、事業拡大とともに、事業を通じて社会に貢献することで、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

当社グループは、新中期経営計画(2019-2021年度)におけるこれら一連の取り組みを通じ、顧客ニーズに対応した高い付加価値を提供し続けるとともに、社会の変化に適応し、進化し続ける“強い”会社を目指してまいります。また、事業活動を通してSDGs等の社会的課題解決へ貢献し、持続的成長のサイクルを回してまいります。

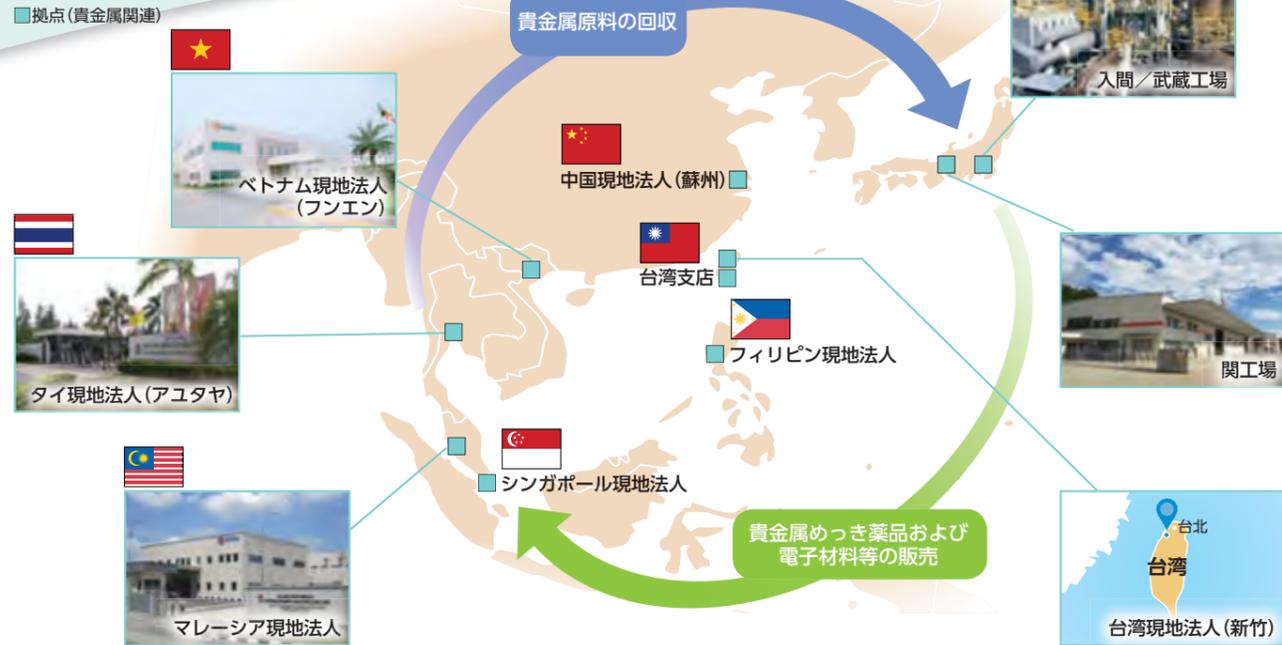
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当社グループが目指す姿



グローバルネットワーク & 営業概況

貴金属関連事業 東アジアネットワーク



食品関連事業の 拠点と主な調達先



貴金属関連事業

2019年3月期の業績

主力顧客のエレクトロニクス業界では、車載関連の好調は続いたものの、スマートフォンの低迷やデータセンター需要の頭打ちなど厳しい状況が見られました。こうしたなか、貴金属リサイクルの取扱量は横這いとなり、貴金属化成品や電子材料等の販売量は減少したものの、金、銀、白金族等の販売や産業廃棄物処理の増加、パラジウム価格の上昇もあり、売上高は増加しました。

2020年3月期の見通しと施策

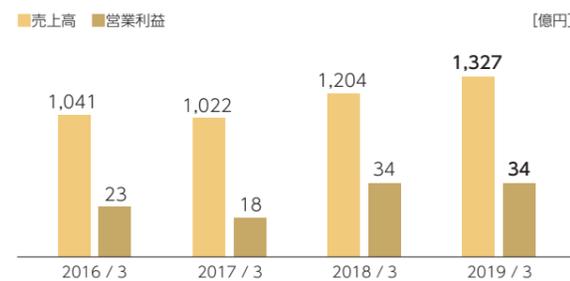
国内景気への緩やかな回復期待がある一方、弱含む個人消費や電子デバイス市場の減速懸念、通商問題や中国を含む海外経済・政策の不確実性等から、より不透明な状況が続く見込みです。国内外の拠点強化や効率化のほか新規需要開拓を積極的に行い、業容の維持拡大を図ります。

Q 貴金属関連事業では、2020年3月期からスタートした新中期経営計画において、どのような設備投資を計画していますか？

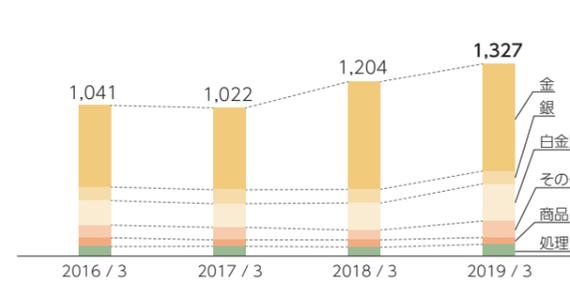
まずは、前中期経営計画から実施してきた関工場(岐阜県)の貴金属スクラップ前処理機能の強化を継続し、2021年3月期から本格稼働を始める予定です。また、本年2月に設立した台湾現地法人への設備投資も実施するほか、リチウムイオン電池のリサイクルに向けた取り組みなど、中長期的な事業領域拡大に向けた設備投資計画を策定していく予定です。

売上高 **1,327** 億円
(前期比 10.2% 増)

営業利益 **34** 億円
(前期比 1.1% 増)



品目別売上高



食品関連事業

2019年3月期の業績

国内の個人消費に力強さを欠くなか、食品製造業界は加工食品需要の高まりや海外展開の拡大等により、緩やかな上昇傾向で推移しました。こうしたなか、水産品、畜産品、農産品ともに販売数量が増加し、鶏卵など一部商品に販売価格の下落はあったものの、売上高は増加しました。

2020年3月期の見通しと施策

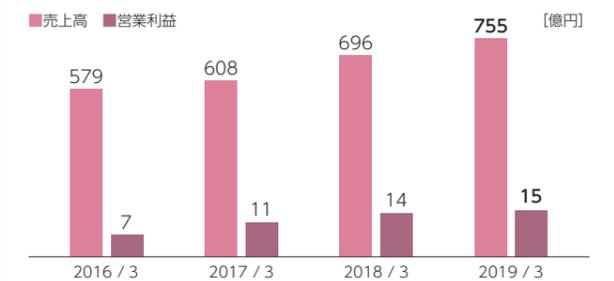
国内の個人消費は弱含むが続くものの、海外拠点も活用しながら顧客ニーズを的確にとらえた営業活動を行い、安全・安心・安定供給を根本に据えた商品の開拓・提供によって差別化することで、着実な収益確保を図ります。

Q 松田産業は食品関連事業でも、東アジアの顧客開拓を進めていると聞きました。具体的にはどの国で、どのような品目を販売する計画ですか？

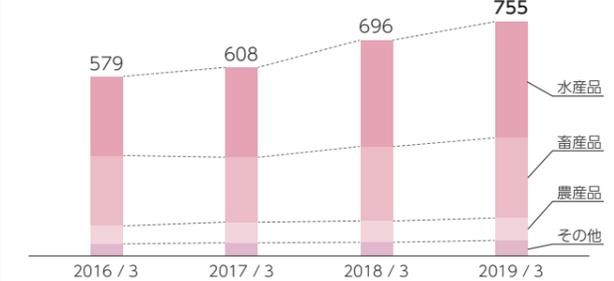
中国、タイ、ベトナムの各現地法人を拠点に、現地市場の開拓を進めています。アジアにおける日本食ブームを背景に、日本規格の食材であるすりみや水産品、畜肉などを、当社の強みである「安全・安心」と、「安定供給」という付加価値を訴求しながら販売し、現地の大手顧客や販路の開拓を進めています。

売上高 **755** 億円
(前期比 8.4% 増)

営業利益 **15** 億円
(前期比 2.3% 増)



品目別売上高



〈貴金属関連事業〉台湾現地法人を設立、東アジア7現地法人体制へ

東アジアでの貴金属関連事業のさらなる強化に向けて、本年2月、台湾現地法人を設立しました。同法人は東アジアにおける台湾市場での電子材料の販売等貴金属事業の拡充を目指し、さらなる海外展開強化に取り組めます。今回の台湾現地法人の設立により、当社の東アジアにおける

貴金属関連事業は、7現地法人体制となります。今後も貴金属原料の回収・製錬と貴金属材料の販売に注力し、「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」を目指してまいります。



効率化とお客様対応力のさらなる強化へ向けて、機構改革を実施

2019年度からの新中期経営計画のスタートに合わせ、全社における事業と営業の効率化、お客様対応力のさらなる強化を目的に、機構改革を実施しました。

また、国内営業拠点も集約・拡充し、よりきめ細かなサービス体制と営業の効率化を図り、さらなる事業拡大を目指してまいります。

機構改革のポイント(2019年4月1日実施)



低金濃度と耐食性を両立させた「硬質金めっき液」を開発

松田産業の金めっき液は、エレクトロニクス製品のコネクタなど身近な電子部品の製造に欠かせない材料として、多くのお客様にご利用いただいています。コスト低減が求められる電子部品業界では、金の使用量を減らす「省金化」ニーズが高まっていますが、当社はこのたび、金の使用量(濃度)を抑えながらも、良好な耐食性・耐摩耗性・はんだ接続性を発揮できる「硬質金めっき液」を開発しました。大型部品から微小部品まで幅広い製品に適用できる当製品を、より広範囲な業界へ展開する計画です。



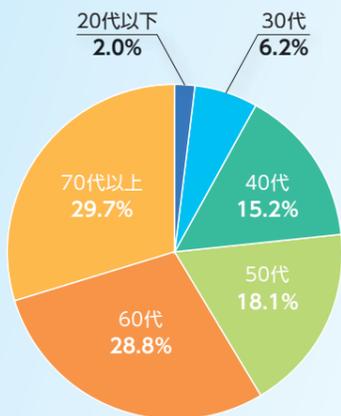
結果ご報告

～株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございます～

第69回(2018年3月期)定時株主総会決議ご通知に同封いたしました株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。多くの株主の皆様にご回答いただきましたことを厚く御礼申し上げますとともに、結果の一部をご紹介します。

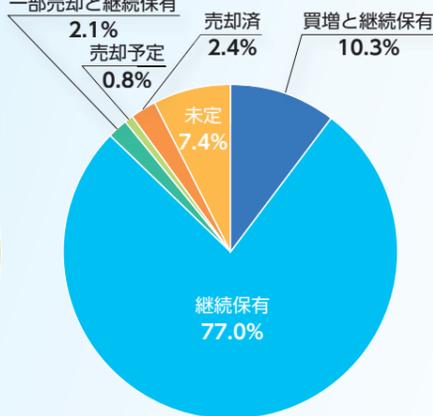
調査期間: 2018年6月28日～7月31日 回答率: 48.0%

株主様世代構成



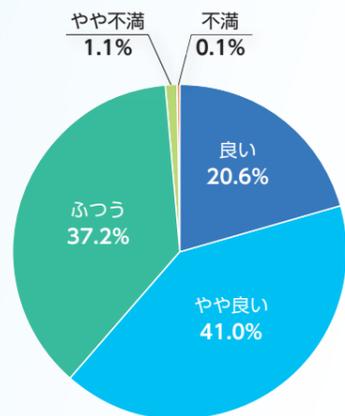
昨年(2018年3月期)に比べ70歳代以上の比率が高まり、40歳代以下の比率が低下しました。

当社株式の今後の保有方針



77%の方が「継続保有」と回答され、「買増と継続保有」と合わせて87.3%となりました。

IRハンドブック(見やすさ)について



文字色を改善した効果もあり、「良い」が前回より2.1ポイント上昇しました。今後もさらなる改善を図ってまいります。

ご意見・ご要望等(コメント記入欄より)

世界経済が保護主義などで不安定ですが、グローバルに地球に貢献する企業として、より一層発展を期待しています。

資源リサイクル、食品関連のどちらも今後有望な事業。世界的な規模での戦略を希望します。

食糧の安定供給のため、食品部門に力を入れていただきたい。

リサイクルに新技術を導入して、社会性・利益性ともに向上されることを期待します。

父から株を相続。父は事業内容を調べ、応援できる会社を選んでいました。遺志をついで応援するつもりで持ち続けたいと思います。

金の1kgバーを購入したら松田ブランドだった。以来株を持ち続けている。

株価の上昇を期待しております。

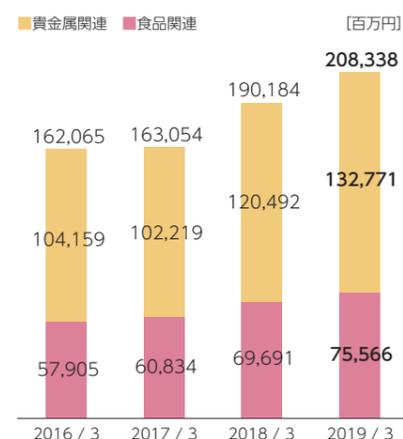
今後も安定した配当と優待をお願いします。

IR HANDBOOKでは、リサイクルで回収した貴金属の活用先を紹介して欲しい。

多くの株主様より貴重なご意見・ご要望を賜りまして、誠にありがとうございます。今後の企業活動や情報発信等の参考にさせていただきます。当社は今後も、株主の皆様とのコミュニケーションの強化に取り組んでまいります。引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今回(第70回)の定時株主総会決議ご通知にも、株主様アンケートを同封しております。大変お手数ではございますが、ご協力いただけますと幸いです。

売上高



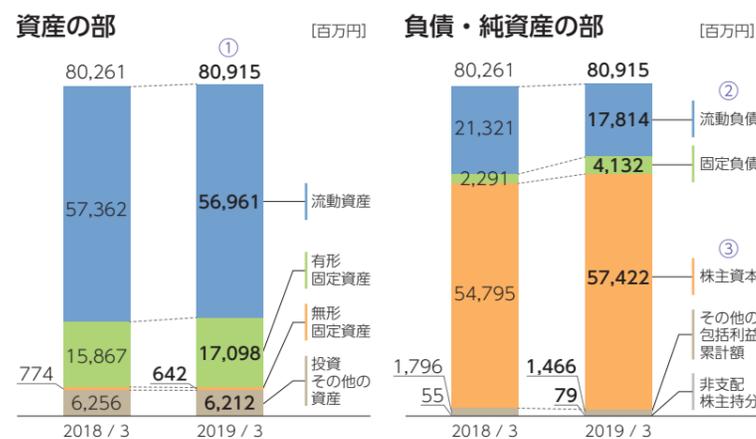
営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当/配当性向

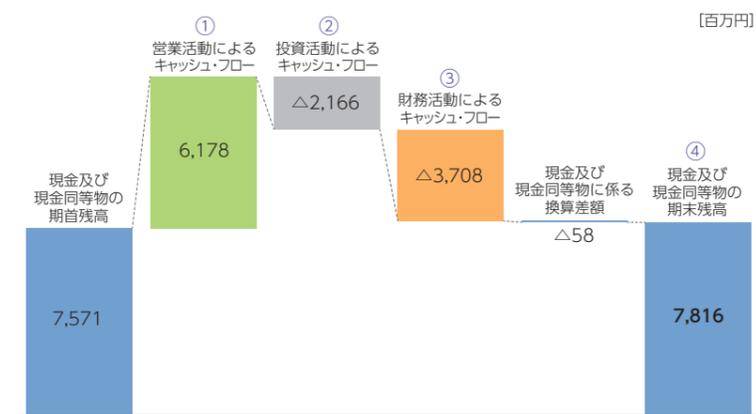


貸借対照表



- ①受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、原材料及び貯蔵品が増加したほか、工場設備を新設・更新したことなどにより、資産の部は654百万円の増加となりました。
- ②長期借入金が増加したものの、短期借入金の減少等により、負債の部は1,666百万円の減少となりました。
- ③親会社株主に帰属する当期純利益と配当金の支払いの差引等により、純資産の部は2,320百万円の増加となりました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費及び売上債権の減少による資金の増加と、法人税等の支払いによる資金の減少の差引等により、6,178百万円の収入となりました。
- ②工場設備の新設・更新等まつわる有形固定資産の取得等により、2,166百万円の支出となりました。
- ③借入金の返済等により、3,708百万円の支出となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から244百万円増加し、7,816百万円となりました。

会社概要 (2019年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	1,354名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

役員一覧 (2019年6月27日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査等委員	畠山 伸一
取締役副社長	對馬 浩二		内山 敏彦
取締役	片山 雄司		中岡 利徳
	山崎 隆一		小島 敏幸
	木下 敦視		
	石禾 健二		
	都築 淳一		

※監査等委員はいずれも社外取締役です。

事業所 (2019年4月1日 現在)

金属・環境営業本部	仙台 / 水戸 / 埼玉 / 東京 / 東京第二 / 神奈川 / 長野 / 名古屋 / 名古屋第二 / 金沢 / 大阪 / 福山 / 福岡 / 鹿児島
食品事業部	札幌 / 仙台 / 北関東 / 東京 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室
生産部門	開発センター / 武蔵工場 / 武蔵第三工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 関工場 / 関第二工場

関係会社 (2019年3月31日 現在)

マツダ流通株式会社	貨物自動車運送
マツダ環境株式会社	貴金属製品販売
日本メディカルテクノロジー株式会社	金属原料の回収・販売
北海道アオキ化学株式会社	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン株式会社	各種廃棄物処理・設備販売
ガルフ食品株式会社	水産品の輸入卸売
日鉄マイクロメタル株式会社	電子工業用金属製品の製造・販売

現地法人 (2019年3月31日 現在)

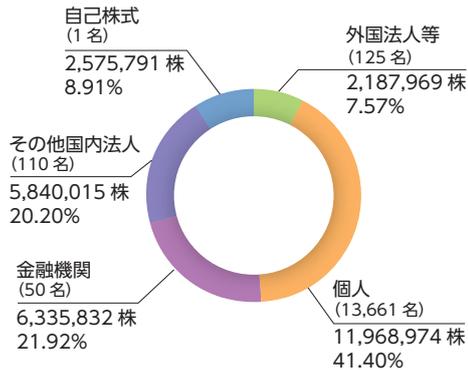
貴金属関連	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	台灣松田産業股份有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
食品関連	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Vietnam) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介

株式情報

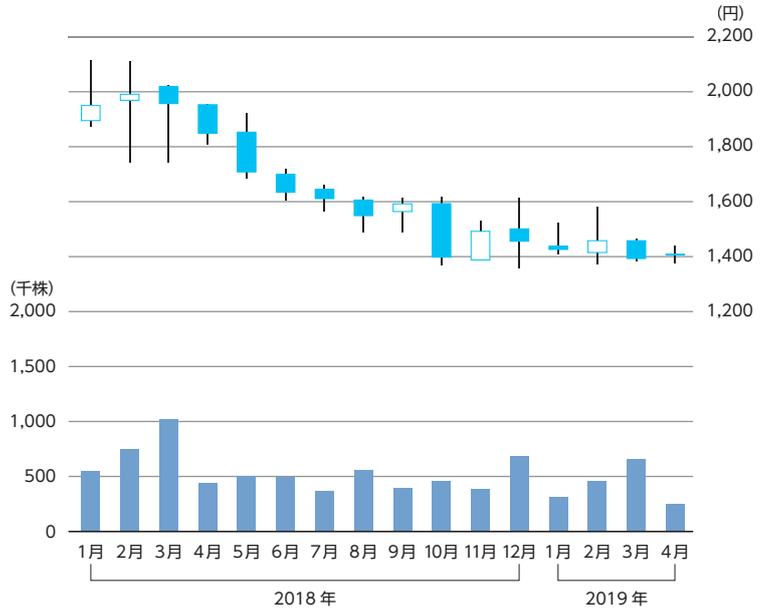
株式の状況 (2019年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	13,947名

所有者別分布状況 (2019年3月31日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(株式に関するマイナンバー制度のご案内)

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けいただく必要があります。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書
- ・配当金に関する支払調書
 - ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届けに関するお問合せ先】

証券会社等の口座にて株式を管理されている株主様…お取引の証券会社等にお問合せください。証券会社等とお取引がない株主様…三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合せください。TEL.0120-232-711 (通話料無料)